



## 平成 23 年度に係る業務の実績に関する評価結果

国立大学法人評価委員会より、平成 23 年度に係る業務実績に関する評価結果（いわゆる「年度計画」に関する評価）が届きました。評価結果は、全ての項目が「順調」と判断されました。平成 16 年度より始ったこの評価で全ての項目が「順調」と評価されたのは初めてとなります。

ここで、国立大学法人評価委員会による「第2 期中期目標期間における各年度終了時の評価」について解説いたします。

### ①大学による自己点検・評価

評価委員会による評価は、本学で行った自己点検・評価に基づいて行われる。自己点検・評価は、年度計画の記載事項ごとに事業の実施状況を次の4 段階により行います。

年度計画を上回って実施している	IV
年度計画を十分に実施している	III
年度計画を十分には実施していない	II
年度計画を実施していない	I

本学の平成 23 年度における自己点検・評価は、大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育・研究・社会貢献・附属病院・附属学校園関係）を含め全体で「年度計画を上回って実施している（IV）」が 19 本、「年度計画を十分に実施している（III）」が 93 本」でした。詳細は、大学ホームページに掲載していますのでご覧ください（URL…[http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/pdf/plan\\_year/2011/H23\\_jissijoukyou\\_ichiran.pdf](http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/pdf/plan_year/2011/H23_jissijoukyou_ichiran.pdf)）。

### ②評価対象となる年度計画の範囲

業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己点検・評価及び情報提供、その他業務運営（施設設備の整備・活用、安全管理等）の4 項目（中期計画 No.47～72）となります。

※大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育・研究・社会貢献・附属病院・附属学校園関係）は、対象外。

### ③国立大学法人評価委員会による検証・評定

「中期計画の達成に向けて、各年度の業務が順

調に進捗しているかどうか」という観点から、年度計画の記載事項ごとに、自己点検・評価や計画設定の妥当性も含めて総合的に検証され、大学の自己評価と国立大学法人評価委員会の評価が異なる場合は、その理由等が示されます。評定は、大学の中期計画に対する進捗状況にもとづき、次の5 段階で行われます。

評 定	判断基準(めやす)
中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある	国立大学法人評価委員会が特に認める場合
中期計画の達成に向けて順調に進んでいる	すべてIV又はIII
中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる	IV又はIIIの割合が9割以上
中期計画の達成のためにはやや遅れている	IV又はIIIの割合が9割未満
中期計画の達成のためには重大な改善事項がある	国立大学法人評価委員会が特に認める場合

なお、他大学の状況は、文部科学省のホームページに掲載されていますのでご覧ください（URL…[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/houjin/detail/1327573.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/detail/1327573.htm)）。

### 【注 意】

次に掲げる事項が生じた場合は、法人評価委員会の評定が、下げられています。

- ①年度計画が未達成の場合
- ②研究費の不適切な経理
- ③寄付金の個人経理
- ④法人運営に重大な課題がある

平成 24 年度は、本学が会計検査院により「寄付金の個人経理」の指摘を受けており、「その他の業務運営に関する重要事項」の評定において1 段階下げられることが想定されます。

## 平成24年度計画の進捗状況及び平成25年度計画策定に関するヒアリングを実施



本年度も10月11日から11月20日の約1ヶ月半の期間をかけて、松本キャンパス本部棟5階にある「評価分析室」において平成24年度計画の進捗状況及び平成25年度計画策定に関するヒアリングを実施しました。なお、冒頭で「本年度も」としたのは、第1期中期目標・中期計画期間から各年度の中間(平成21年度までは11月～12月に実施)で「年度計画に関するヒアリング」を実施してきたからですが、このようなヒアリングが開催されていること自体知らない方も多いかと思われますので、ご説明いたします。

ヒアリングの目的としては、ヒアリング時点における平成24年度計画の進捗状況について確認するとともに、平成25年度計画の策定に当たって意見交換を行うことにより、第2期中期目標・中期計画の達成に資することとして実施しました。

ヒアリングの実施メンバーは、二宮副学長(点検評価担当)、福嶋副学長(企画総括担当)、鈴木理事(企画調整担当)の役員と評価分析室員である経営企画

課職員であり、ヒアリングの対象者は、計画担当役員、担当部署職員となっています。

実施時間は、一年度計画当たり20分程度で行われ、計画担当側より本年度の進捗状況や次年度計画の策定に関して説明があり、その後意見交換が行われました。

ヒアリングを実施した限りでは、年度計画は、概ね達成できるのではないかと感想をもちましたが、中期計画の達成については、これから更に達成度の向上を目指す必要があると思えるところも見受けられました。

なお、本年度の文部科学省に提出する業務実績報告(対象:中期計画No.47～72)は、従来の4段階による自己評価とともに、年度計画の実施状況を記載して報告することとなります。

## 大学評価担当者集会 2012

(大学評価コンソーシアム主催・国立大学法人神戸大学共催)

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php>

9月6日(木)～7日(金)に神戸大学を会場として「大学評価担当者集会2012(大学評価コンソーシアム主催・国立大学法人神戸大学共催)」が開催され、評価分析室から経営企画課職員が3名参加してまいりました。

同集会には、国公立大学の教職員、及び民間企業を含む大学関係機関から総勢130名が参加し、大学評価及びInstitutional Research(IR)に係る内容を中心に、次のようなプログラムで行われました。

9月6日(木) 13:00～ 全体会1

14:00～17:00

- 第一分科会「評価とIR:データ分析編」
- 第二分科会「初めて評価を担当される方へ」
- 第三分科会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方」

17:00～18:00 全大会2

18:00～ 大学評価コンソーシアム総会

9月7日(金) 10:00～12:00

シンポジウム「学習成果を重視した評価への対応」

13:00～16:00 エンrollment・マネジメントに関する勉強会

本学から参加した3名は、6日に開催された分科会では「第一分科会」に参加し、5～6名で1グループによるグループワークで課題に取り組み、評価業務のノウハウを確認する機会となりました。また、他大学等の方との情報交換する機会にもなり大変有意義なものとなりました。この集会に関する情報は、上述する「大学評価コンソーシアム」ホームページに掲載されていますので、ご興味のある方はご覧ください。

## 編集後記

大学評価担当者集会は、毎年1回開催される集会です。この集会は、評価担当者のSD研修の場であるとともに、他機関の方とも交流が持て、私どもの評価業務の観点の確認が出来る機会となっており、来年以降も参加したいと思っております。